

「里山再生モデル事業」事業計画（案）
（広野町：J ヴィレッジスタジアム周辺）

平成 28 年 9 月 6 日
復 興 庁
農 林 水 産 省
環 境 省

1. 本事業の目的

町のシンボル施設である J ヴィレッジスタジアム周辺の森林の除染や間伐等の森林整備を行うとともに、空間線量等測定による空間線量マップを作成し、放射線量等に関する情報提供活動を行うことにより、同施設を安心して利用再開できる環境づくりを目指す。

また、本事業の成果について、原子力災害を受けた各地の里山の再生に寄与するものとする。

【現 状】

- J ヴィレッジは、平成 9 年に日本初のサッカー・ナショナルトレーニングセンターとして開設されて以来、原発事故以前は年間約 50 万人、累計およそ 680 万人が利用していた。
- 原発事故後は閉鎖され、原発事故の収束や双葉郡内の除染・復旧作業等のための作業員等の活動拠点となっているが、平成 30 年夏頃までに J ヴィレッジの一部営業を再開し、平成 31 年 4 月までに世界に誇るナショナルトレーニングセンターとして再生することを目指している。
- モデル地区は、J ヴィレッジスタジアムの北側に隣接し、親水公園として、遊歩道周辺や調整池の周辺には花木が植栽され、スタジアム利用者の散策など休養の場に利用されてきた。
- 広野町は、平成 24 年度から 10 年間を計画期間とする「広野町復興計画」（H26. 3 改訂）を策定し、復旧・復興の取組を進めている。

2. モデル地区の概要

位 置：広野町下北迫岩沢地内 J ヴィレッジスタジアム周辺
区域面積：約 11ha（うち森林約 5ha（町有林））
利用の方向：スタジアムを訪れた観客などが散策等に利用する。

3. 事業実施期間

平成28～31年度

4. 事業実施主体

広野町

5. 事業内容

本事業は、以下の各事業を組み合わせる実施することとする。

(1) Jヴィレッジスタジアム周辺の森林の除染

福島県民健康管理基金（除染対策事業交付金）を活用し、Jヴィレッジスタジアム周辺の森林において除染を実施する。

除染の範囲及び手法は、同森林内で施設の利用者等が利用していた場所（遊歩道等）のうち、除染未実施の区間を対象に、堆積物除去を予定。具体的な除染の実施箇所・手法については、より詳細な調査を踏まえて決定する。

(2) 間伐等の森林整備

ふくしま森林再生事業を活用し、間伐等を実施する。事前に森林内の状況を調査し、必要な森林整備の内容や区域等を決定する。伐採木は搬出して木材として利用することを基本とする。

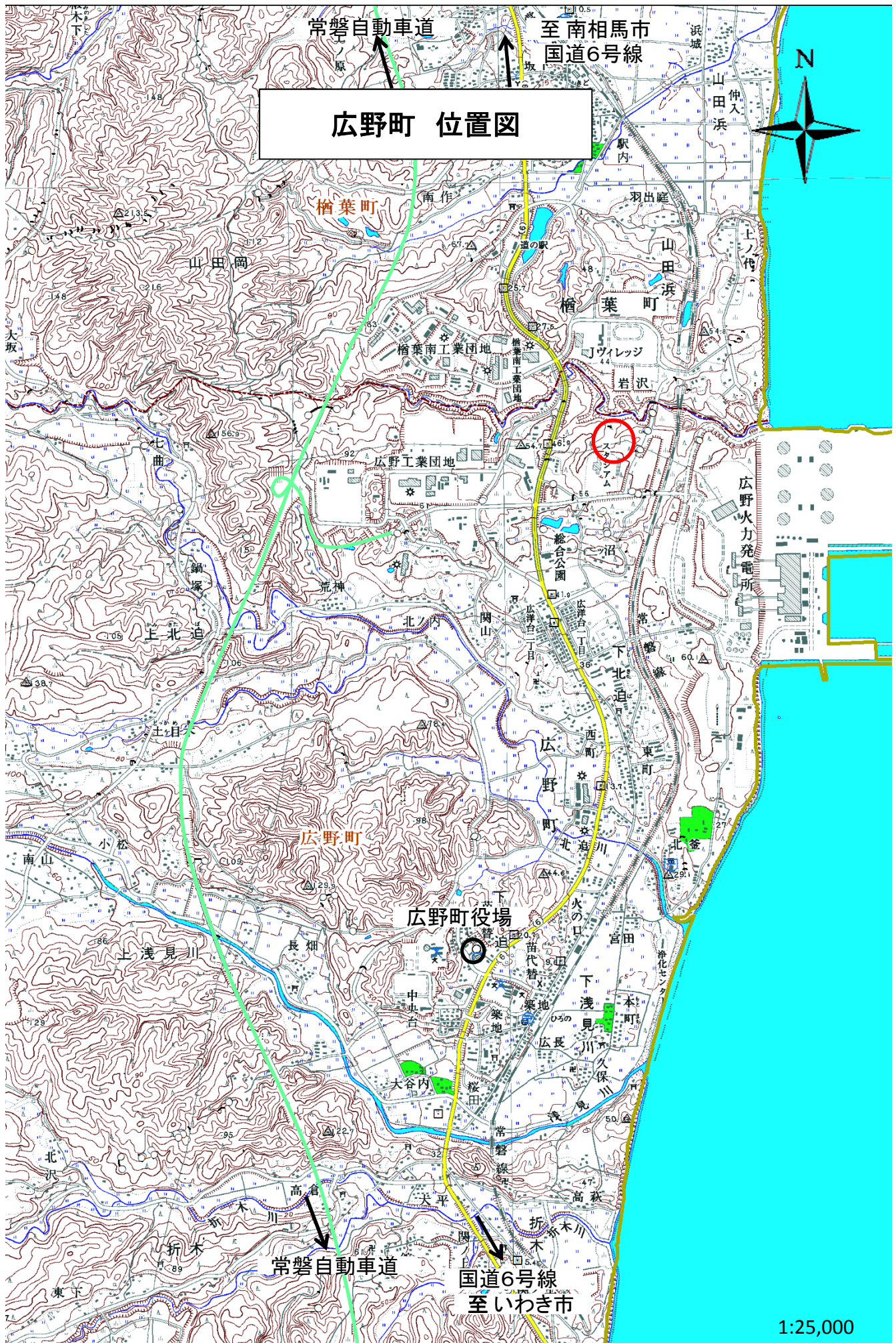
また、作業にあたっては現地の地形等に応じた作業道を開設するとともに、表土流出の恐れのある箇所には必要に応じて防止方策を検討する。

(3) 線量マップの作成など各種線量測定

福島再生加速化交付金（帰還環境整備）「個人線量管理・線量低減活動支援事業」（内閣府）を活用し、モデル地区のうち、日常的に人が立ち入りを行う遊歩道などについて線量マップを作成する。

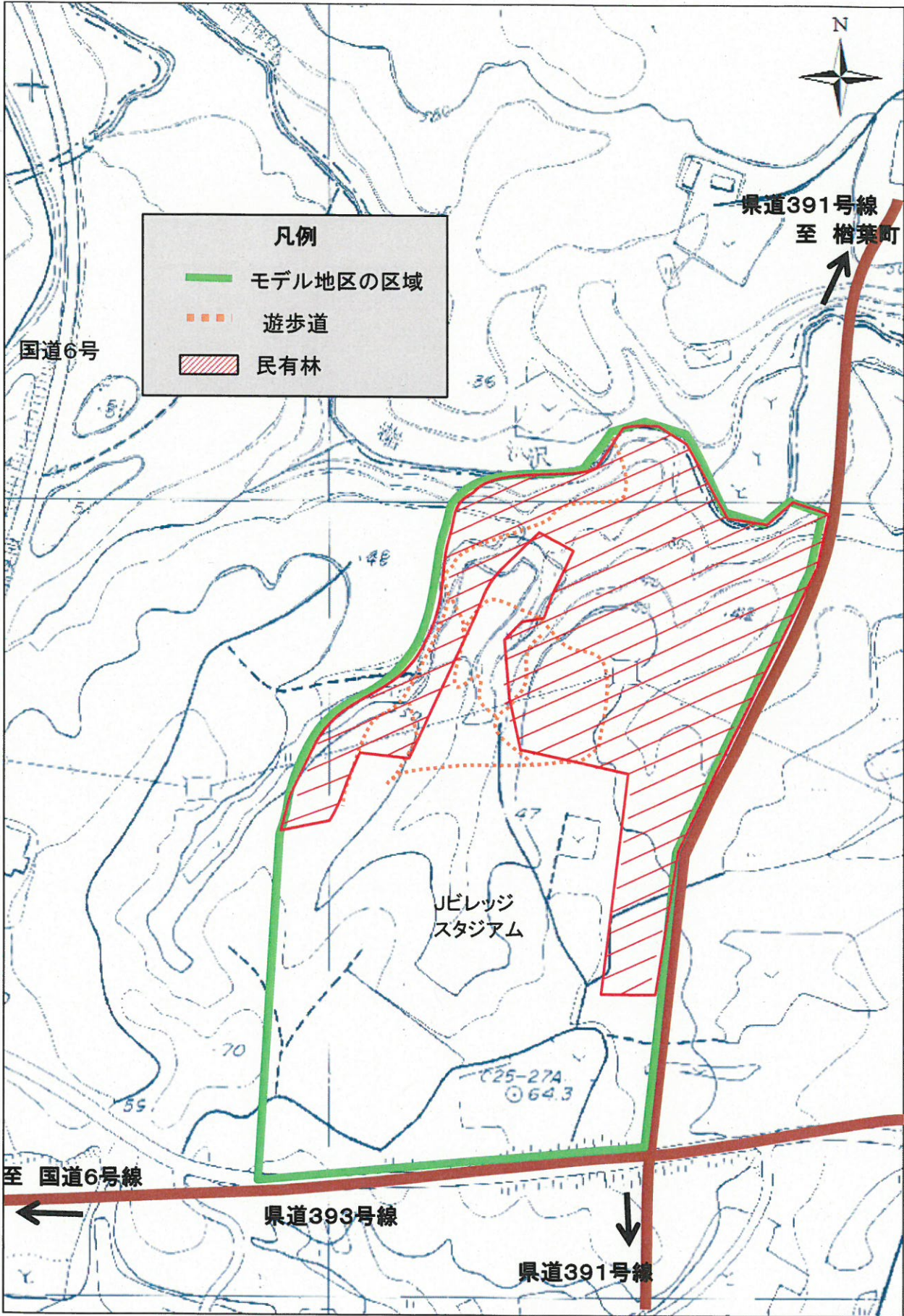
6. 事業工程（予定）

事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
除染	詳細調査・ 除染範囲決定	除染等の実施	事後の線量 測定等	事後の線量 測定等 除染の効果 を検証 取りまとめ
森林 整備	詳細調査	間伐等	モニタリング等	取りまとめ
線量 測定			事業内容の 調整・決定	測定 マップ 作成等 取りまとめ



広野町 位置図

広野町 モデル地区の概況図



広野町 モデル地区の概況図



モデル地区写真資料
(広野町：J ヴィレッジスタジアム周辺)

(写真 1：周辺の状況 1)



(写真 2：周辺の状況 2)



(写真3：遊歩道1)



(写真4：遊歩道2)

